



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名
 コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 柏木 康全
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 コーポレート管理本部長 (氏名) 仁科 圭右 TEL 026-285-4101
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 2022年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|---------|-----|------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 120,929 | 4.4 | 824 | 14.1 | 1,130 | 14.7 | 685 | 19.9 |
| 2022年3月期第2四半期 | 115,861 | 3.6 | 722 | △13.6 | 985 | △19.6 | 571 | △24.2 |

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 804百万円 (61.2%) 2022年3月期第2四半期 499百万円 (△49.9%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第2四半期 | 31.00 | — |
| 2022年3月期第2四半期 | 25.88 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第2四半期 | 54,504 | 23,913 | 42.8 |
| 2022年3月期 | 53,680 | 23,476 | 42.6 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 23,306百万円 2022年3月期 22,866百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 3.00 | — | 15.00 | 18.00 |
| 2023年3月期 | — | 3.00 | — | — | — |
| 2023年3月期（予想） | — | — | — | 15.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-------|-------|-------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 242,000 | 1.6 | 1,550 | △12.8 | 2,000 | △13.8 | 1,100 | 59.8 | 49.81 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期2Q | 23,121,000株 | 2022年3月期 | 23,121,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期2Q | 1,017,446株 | 2022年3月期 | 1,025,198株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期2Q | 22,099,695株 | 2022年3月期2Q | 22,075,084株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は継続しつつも、行動制限の緩和等により一部に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化等を起因とする原油価格や原材料価格の高騰と、急速な円安の進行により物価上昇圧力が増すなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界におきましては、物価高の影響や光熱費の高騰等により家計への負担が増大し、消費者の節約志向がさらに強まるなど、厳しい経営環境が継続しております。

こうした環境の中、当社グループは経営理念に掲げる「人命の根源たる食品の流通を通して社会に奉仕する」に基づき、食のライフラインを守ることを社会的使命に地域のインフラとしての機能を高めながら事業の持続的成長を図っております。

経営方針としましては、2023年3月期を最終年度とする中期経営計画「創造2022」の達成に向け、重点施策の5本柱として「物流」「長野モデル」「事業拡大戦略」「人材育成」「事業構造改革」を掲げ、グループ収益力の最大化に向けて諸施策を実行しております。また、サステナビリティ経営については、環境問題に対して中長期的な視点で目標と施策を検討しており、事業活動を通じたSDGsの取組みを進めております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当社グループの商品調達力により安定的な商品供給を図ったことに加え、商品の仕入価格上昇に伴う販売単価の上昇もあり、売上高は1,209億29百万円（前年同期比4.4%増）となりました。利益面につきましては、売上高の伸長による売上総利益の増加と、水道光熱費上昇の影響を受ける中、コストの低減に努めたことから、営業利益8億24百万円（同14.1%増）、経常利益11億30百万円（同14.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益6億85百万円（同19.9%増）となりました。

[セグメント別の概況]

※ 各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

水産部門では国産天然魚の不漁や小型化および為替やウクライナ問題等による相場高の環境下、当社グループ内の連携強化による養殖魚の安定供給に加え、国産天然魚の産地とのネットワークを基盤とした商品調達と、フルアソート調達機能を活かすことで得意先からの天然・養殖・生鮮・冷凍での供給ニーズに応えながら売上拡大を図りました。デイリー部門では自社開発商品の拡売と得意先との商品開発により売上を拡大しております。フードサービス部門では観光需要の回復により業務用関連の売上が伸長しました。以上のことから、売上高につきましては704億11百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

利益面につきましては、コストの上昇により販管費が増加したものの、売上高の拡大による売上総利益の増加等により、営業利益は4億96百万円（同52.6%増）となりました。

<一般食品事業セグメント>

原材料の高騰に伴う相次ぐ商品の値上げと、内食需要の反動減により店頭売上が鈍化する中、得意先との商品開発や販促提案等の顧客ニーズへの組織的な対応と、自社開発商品の販路拡大を進めております。売上高につきましては、観光需要の回復や帰省客の増加等のプラス効果もあり141億59百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

利益面につきましては、コストの上昇による販管費の増加に加え、子会社信田缶詰(株)について水産部門と連携した原料調達力による販路拡大を図るも水産缶詰の需要減による売上の低迷もあり、営業損失は1億77百万円（前年同期は1億42百万円の営業損失）となりました。

<畜産事業セグメント>

輸入畜肉は急激な円安の進行で仕入価格が高騰し、国産畜肉は需要の増加と生産コストの上昇により相場高が継続しております。このような状況下、当社グループでは商品調達力と流通加工機能を活かし、長野県及び関東・東海・中京エリアへの拡販を進めております。以上のことから、売上高につきましては201億77百万円（前年同期比6.4%増）となりました。

利益面につきましては、仕入価格の高騰に対する販売価格への転嫁が遅れましたが、前年同期に発生した営業上での一過性の費用の反動もあり、営業利益は2億1百万円（同1.3%増）となりました。

<丸水長野県水グループセグメント>

各事業分野において当社グループ内で連携を図ることで長野県内の主要顧客との取組みを強化し、販売拡大を進めております。以上のことから、売上高につきましては157億3百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

利益面につきましては、仕入価格高騰の影響による売上総利益の減少に加え、年金資産運用における退職給付費用の一時的な増加もあり、営業利益は2億40百万円（同5.3%減）となりました。

<その他（物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築を、グループ内の各事業と連携しながら推進しております。

業績につきましては、電気料金の高騰等によるコストの上昇が収益を圧迫し、売上高は4億77百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は64百万円（同25.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は545億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億24百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が11億99百万円、商品及び製品が23億81百万円増加したことによります。

負債は305億91百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億87百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が5億96百万円増加したことによります。

純資産合計は239億13百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億37百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.6%から42.8%に増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は56億54百万円となり、前連結会計年度末と比較して32億70百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は21億12百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は2億17百万円）。これは主に、税金等調整前四半期純利益が11億30百万円、減価償却費が3億16百万円となり、売上債権・棚卸資産・仕入債務等からなる運転資本が29億90百万円減少したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は5億16百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は10億42百万円）。これは主に、無形固定資産の取得による支出が3億34百万円、有形固定資産の取得による支出が1億56百万円となったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は6億41百万円となりました（前年同四半期連結累計期間に減少した資金は5億49百万円）。これは主に、長期借入金の返済による支出が1億59百万円、リース債務の返済による支出が90百万円、配当金の支払額が3億32百万円となったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では2022年5月12日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,953 | 5,706 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,647 | 19,846 |
| 商品及び製品 | 6,162 | 8,544 |
| 仕掛品 | 20 | 14 |
| 原材料及び貯蔵品 | 201 | 178 |
| その他 | 2,515 | 2,645 |
| 貸倒引当金 | △17 | △24 |
| 流動資産合計 | 36,484 | 36,911 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,721 | 2,683 |
| 土地 | 6,603 | 6,603 |
| その他(純額) | 1,202 | 1,136 |
| 有形固定資産合計 | 10,527 | 10,424 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア仮勘定 | 1,841 | 2,215 |
| その他 | 212 | 223 |
| 無形固定資産合計 | 2,054 | 2,438 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,731 | 2,811 |
| 退職給付に係る資産 | 197 | 184 |
| その他 | 1,832 | 1,883 |
| 貸倒引当金 | △147 | △148 |
| 投資その他の資産合計 | 4,614 | 4,731 |
| 固定資産合計 | 17,196 | 17,593 |
| 資産合計 | 53,680 | 54,504 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 22,129 | 22,725 |
| 短期借入金 | 1,200 | 1,200 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 318 | 306 |
| 未払法人税等 | 469 | 443 |
| 賞与引当金 | 509 | 511 |
| その他 | 3,268 | 3,340 |
| 流動負債合計 | 27,894 | 28,527 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 362 | 214 |
| 役員株式給付引当金 | 73 | 84 |
| 債務保証損失引当金 | 45 | 45 |
| 退職給付に係る負債 | 769 | 732 |
| 資産除去債務 | 102 | 103 |
| その他 | 956 | 883 |
| 固定負債合計 | 2,309 | 2,063 |
| 負債合計 | 30,204 | 30,591 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,719 | 3,719 |
| 資本剰余金 | 3,388 | 3,388 |
| 利益剰余金 | 16,623 | 16,975 |
| 自己株式 | △1,104 | △1,097 |
| 株主資本合計 | 22,627 | 22,987 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 475 | 535 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △236 | △215 |
| その他の包括利益累計額合計 | 239 | 319 |
| 非支配株主持分 | 609 | 606 |
| 純資産合計 | 23,476 | 23,913 |
| 負債純資産合計 | 53,680 | 54,504 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 115,861 | 120,929 |
| 売上原価 | 106,000 | 110,955 |
| 売上総利益 | 9,860 | 9,974 |
| 販売費及び一般管理費 | 9,138 | 9,150 |
| 営業利益 | 722 | 824 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1 | 0 |
| 受取配当金 | 65 | 72 |
| 受取賃貸料 | 100 | 102 |
| その他 | 109 | 142 |
| 営業外収益合計 | 276 | 318 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6 | 6 |
| 固定資産除却損 | 3 | 3 |
| その他 | 3 | 2 |
| 営業外費用合計 | 13 | 11 |
| 経常利益 | 985 | 1,130 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 985 | 1,130 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 379 | 456 |
| 法人税等調整額 | △9 | △50 |
| 法人税等合計 | 369 | 406 |
| 四半期純利益 | 615 | 724 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 44 | 39 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 571 | 685 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 615 | 724 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △137 | 59 |
| 退職給付に係る調整額 | 20 | 20 |
| その他の包括利益合計 | △116 | 80 |
| 四半期包括利益 | 499 | 804 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 454 | 765 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 44 | 39 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 985 | 1,130 |
| 減価償却費 | 317 | 316 |
| のれん償却額 | 43 | — |
| 固定資産除却損 | 3 | 3 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 1 | 2 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | △9 | △7 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | △29 | 12 |
| 役員株式給付引当金の増減額(△は減少) | 23 | 18 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △23 | 8 |
| 受取利息及び受取配当金 | △66 | △73 |
| 支払利息 | 6 | 6 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △0 | △0 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,208 | △1,234 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △1,286 | △2,352 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 1,706 | 596 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △96 | △138 |
| その他の負債の増減額(△は減少) | 14 | 19 |
| その他 | 4 | △7 |
| 小計 | 385 | △1,698 |
| 利息及び配当金の受取額 | 65 | 72 |
| 利息の支払額 | △6 | △6 |
| 法人税等の支払額 | △662 | △481 |
| 法人税等の還付額 | 1 | 1 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △217 | △2,112 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △502 | △156 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 0 | 5 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △540 | △334 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △8 | △8 |
| 貸付金の回収による収入 | 18 | 18 |
| 定期預金の預入による支出 | △24 | △24 |
| その他 | 14 | △15 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,042 | △516 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 50 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △143 | △159 |
| リース債務の返済による支出 | △103 | △90 |
| 自己株式の取得による支出 | △0 | △0 |
| 配当金の支払額 | △309 | △332 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △25 | △42 |
| その他 | △16 | △17 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △549 | △641 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △1,809 | △3,270 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 9,265 | 8,925 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,456 | 5,654 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------|------------|--------|--------------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 水産事業 | 一般食品 事業 | 畜産事業 | 丸水長野 県水グル ープ | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 67,242 | 13,774 | 18,960 | 15,382 | 115,360 | 500 | 115,861 | — | 115,861 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 67,242 | 13,774 | 18,960 | 15,382 | 115,360 | 500 | 115,861 | — | 115,861 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 480 | 62 | 705 | 82 | 1,330 | 1,640 | 2,970 | △2,970 | — |
| 計 | 67,722 | 13,837 | 19,665 | 15,464 | 116,690 | 2,140 | 118,831 | △2,970 | 115,861 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 325 | △142 | 198 | 253 | 635 | 86 | 722 | — | 722 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、
OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|---------|------------|--------|--------------------|---------|-------------|---------|-------------|-------------------------------|
| | 水産事業 | 一般食品 事業 | 畜産事業 | 丸水長野 県水グル ープ | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 顧客との契約から生 じる収益 | 70,411 | 14,159 | 20,177 | 15,703 | 120,451 | 477 | 120,929 | — | 120,929 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 70,411 | 14,159 | 20,177 | 15,703 | 120,451 | 477 | 120,929 | — | 120,929 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 443 | 71 | 788 | 103 | 1,407 | 1,634 | 3,041 | △3,041 | — |
| 計 | 70,855 | 14,230 | 20,965 | 15,807 | 121,858 | 2,112 | 123,971 | △3,041 | 120,929 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 496 | △177 | 201 | 240 | 760 | 64 | 824 | — | 824 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、
OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。